

令和2年度
富山高等専門学校専攻科
学生募集要項
(第2次募集)



願書受付期間	令和2年1月9日(木)～1月15日(水)
検査日	令和2年1月27日(月)
合格発表	令和2年2月3日(月)
入学確約書提出期限	令和2年2月21日(金)

独立行政法人国立高等専門学校機構
富山高等専門学校

【射水キャンパス】

〒933-0293 富山県射水市海老江練合1の2 [学生課]
電話 (0766)86-5145 FAX (0766)86-5130

<https://www.nc-toyama.ac.jp/>

目 次

令和2年度専攻科学生募集要項

専攻科入学者選抜日程の概要	1
Ⅰ 富山高等専門学校専攻科入学者受入方針（アドミッションポリシー）	1
Ⅱ 募集人員	1
Ⅲ 選抜の方法	1
Ⅳ 障がいをもつ入学者の事前相談について	1
Ⅴ 入学者選抜に関する個人情報の利用について	2
Ⅵ 学生寮への入寮を希望される方へ	2

【学力検査による選抜】

1 出願資格	3
2 出願手続	3
3 選抜の方法	5
4 受験上の注意事項	5
5 合格者の発表	5
6 入学確約書の提出	5
7 入学手続	6

対応出身学科について	7
------------	---

入学案内	7
------	---

令和2年度専攻科学生募集要項

I 富山高等専門学校専攻科入学者受入方針（アドミッションポリシー）

本校専攻科では、幅広い豊かな教養と高度な専門知識を有する人材の育成を目指しています。このような方針に基づき、専攻科では次のような学生を求めています。

○求める学生像（専攻科共通）

- 1 専門の基礎学力をさらに深め、実践力と複眼的な視野を有するデザイン能力を身につけたい人
- 2 研究・開発能力を身につけたいと考え、自主的、継続的に努力できる人
- 3 社会人としての倫理を尊重し、グローバルな視野を有する専門家として貢献したい人

○選抜の基本方針

◇学力検査による選抜

海事システム工学専攻

入学者の選抜は、学力検査（英語（TOEIC スコアによる換算）、数学）と調査書及び面接検査（専門科目に関する口頭試問含む）の結果を総合して判定を行います。

～育成すべき人材像～

海事システム工学専攻

- 1 自然に優しく、人の営みを支える海事関連システムを設計・開発できる人
- 2 海・船・物流などに係わる知識・技術を身につけ、海陸の複合領域で活躍できる人材
- 3 地球環境の視点と倫理観を持ち、国際性を身につけた海事システム技術者

II 募集人員

海事システム工学専攻 若干名

III 選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査による選抜とし、次の日程により行います。

選 抜 区 分	検 査 日	募 集 人 員
		海事システム工学専攻
学力検査による選抜	令和2年1月27日（月）	若干名

IV 障がいをもつ入学志願者の事前相談について

障がいをもつ入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち次頁連絡先へ連絡し、相談してください。

なお、相談に際しては、次の事項を記載した書類及び医師の診断書の提出を求める場合があります。

- ・ 障がいの種類・程度
- ・ 受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・ 修学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・ 高等専門学校等でとられていた措置（担任教員の所見のあるもの）
- ・ 日常生活の状況、その他参考となる事項

相談期限 令和2年1月7日（火）

連絡先

富山高等専門学校（射水キャンパス）学生課
〒933-0293 射水市海老江練合1の2 TEL（0766）86-5145

V 入学者選抜に関する個人情報の利用について

入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び選抜に用いた検査成績・評価等，入学者選抜検査を通じて取得した個人情報については，次の目的以外には利用しません。

- （1）入学者の選抜
- （2）入学後の教育・指導
- （3）入学料免除申請の審査
- （4）授業料免除申請の審査
- （5）奨学金申請の審査
- （6）本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- （7）本校後援会，生活協同組合及び同窓会の事務
- （8）その他，個人が特定できない形で行う統計処理

VI 学生寮への入寮を希望される方へ

海事システム工学専攻に入学される場合には，入寮を受け付けておりません。

1 出願資格

○海事システム工学専攻

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び令和2年9月末までに卒業見込みの者
- (2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）専攻科の課程を修了した者及び令和2年9月末までに修了見込みの者のうち学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規程により大学に編入することができる者
- (3) 短期大学を卒業した者及び令和2年9月末までに卒業見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程を修了した者及び令和2年9月末までに修了見込みの者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者及び令和2年9月末までに修了見込みの者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者及び令和2年9月末までに修了見込みの者
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和2年9月末までに修了見込みの者
- (8) その他本校において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2 出願手続

(1) 出願期間及び提出先

① 出願期間及び時間

令和2年1月9日（木）～令和2年1月15日（水） 9時～17時

※郵送の場合は、1月15日（水）17時までに必着とします。

② 提出先

富山高等専門学校（射水キャンパス）学生課

〒933-0293 射水市海老江練合1の2 TEL（0766）86-5145

(2) 出願書類

① 入学願書 受験票	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
② 写真票	出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向、単身（縦6cm×横5cm）の写真（裏面に出身学校名及び氏名を必ず記載してください。）を貼り付けてください。
③ 調査書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し、厳封してください。
④ TOEIC 公式認定証等 原本	出願の2年前以降に実施された、TOEIC 公開テスト又は TOEIC IP テストのスコア認定証の原本を提出してください。（確認後返却します。）
⑤ 入学検定料 振込金証明書	本校所定の「入学検定料振込依頼書」により、入学検定料 16,500 円を、入学志願者本人の氏名で金融機関へ振り込み の後、「入学検定料振込金証明書」の貼付欄に「振込金証明書(検定料)」を貼り付けて提出してください。郵便局(ゆうちょ銀行)からも振込みが可能ですが、他の金融機関からの振込とは条件・方法が異なります。詳しくは9ページをご覧ください。
⑥ 返信用封筒 (2通) 〔受験票送付用 諸連絡用〕	本校所定の封筒に、入学志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、内1通に414円分の切手を貼り付けてください。（残り1通は、諸連絡照会の際に使用するので、切手は不要です。）
⑦ [該当者のみ] 住民票の写し	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の交付する「住民票の写し」（在留資格が明記されているもの）を提出してください。

※「調査書」の用紙は、本校ホームページ (<https://www.nc-toyama.ac.jp/>) からダウンロードできます。

出願書類①②⑤⑥については、先に公表している「令和2年度 富山高等専門学校専攻科 学生募集要項」に添付の様式を使用してください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願は、上記の出願書類を一括して提出してください。
なお、出願書類を郵送する場合には必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科入学願書」と朱書きしてください。
- ② 出願書類の記入は、黒又は青色インクを使用してください。（ボールペン可）
- ③ 出願書類に不備のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類受理後の記載事項の変更は、原則認めません。
- ⑤ 出願書類の記載事項と相違した事実が判明した場合は、入学後であっても入学を取り消す場合があります。
- ⑥ 受理した入学検定料は、次の場合を除き返還しません。
ア. 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は受理されなかった）場合
イ. 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

〈返還請求の方法〉

下記連絡先へ連絡し、手続方法について確認してください。

連絡先 富山高等専門学校（本郷キャンパス）管理課財務担当

TEL (076) 493-5403

※返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。

3 選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査（数学、英語（TOEIC スコアによる換算））、面接検査（専門科目に関する口頭試問を含む）の結果、及び調査書の内容を総合して判定を行います。

(1) 検査日時、内容及び検査場

検査日	令和2年1月27日（月）	
検査内容	時間	検査場
数学	9:00～10:20	富山高等専門学校 （射水キャンパス） 射水市海老江練合1の2
面接 （専門科目に関する 口頭試問を含む）	10:40～	

(2) 検査内容

科目	検査内容
英語	英語の学力検査の得点は、TOEIC のスコアからの換算点とし、TOEIC スコア 450 点を 100 点に換算します。
数学	基礎数学、微分積分（1変数及び2変数、微分方程式を含む）、線形代数、確率・統計
専門科目 （口頭試問）	海事システム工学専攻の履修に必要な基礎となる学習分野から出題する。

4 受験上の注意事項

- ① 検査当日は、8時40分までに富山高等専門学校（射水キャンパス）学生課へ集合してください。
- ② 検査開始後、各科目とも20分を超えて遅刻した者は、受験を認めません。
また、検査開始から終了までは、中途退室を認めません。
- ③ 受験者は、受験票、筆記用具を持参してください。（昼食不要）
- ④ 検査が終了するまで携帯電話を預かりますので、受付の際に係員の指示に従ってください。
- ⑤ 受験票裏面の「受験者心得」をよく読んでおいてください。
- ⑧ 受験のための宿泊の斡旋は行いません。

5 合格者の発表

選抜の結果は、令和2年2月3日（月）午前9時に本校各キャンパス構内に掲示するとともに、本校ホームページ上でも発表します。（URL <https://www.nc-toyama.ac.jp/>）

また、合格者には、別途文書で通知します。

なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

6 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は令和2年2月21日（金）までに「入学確約書」（「合格通知書」と併せて送付します。）を、下記へ提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。

提出先

富山高等専門学校（射水キャンパス）学生課

〒933-0293 射水市海老江練合1の2 TEL (0766) 86-5145

7 入学手続

「入学確約書」の提出者に対し、後日（令和2年9月）別途通知します。

対応出身学科と学士の学位取得について

専門技術と知識を体系的に修得するため、各専攻希望の学生は原則として次の学科を卒業又は卒業見込みの者とし、また、本校の専攻科で一定の条件を満たした者については、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が行う審査を受けて、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合に、海事システム工学専攻においては「学士（商船学）」の学位を取得できます。出身校他での取得単位については、本校規定に従って読替を行いますので、本校卒業見込み以外の方は、事前にご相談ください。

○対応する出身学科

商船学科又は同等の内容のカリキュラムを実施している学科

○取得できる学士の学位

海事システム工学専攻では学位申請に当たり「商船学」の専攻区分で申請することが可能です。

入 学 案 内

1 専攻名、入学定員及び入学時期

海事システム工学専攻

4名 令和2年10月入学

2 教育目標及び教育方針

海事システム工学専攻

海事システム工学専攻では、本科で学んだ海事技術・地球環境・国際性を共通基盤分野として、海事システムの開発、設計を目指し、商船学及び理工学を主とした関連学問分野における高度な知識や技術についての科目を体系的に学びます。

また、PBL教育や海外インターンシップ等を取り入れ、問題の発見、解決へのアイデアの着想からシステムの設計・開発までのシステム創生に必要な能力や実践的な語学能力の育成等、専門的能力と技術英語・数学物理学演習等の横断的基礎学力を有機的に結合した教育課程を編成しています。

これにより、物流・輸送システムやプラント等の設計・開発等の海事関連分野において、グローバルな視点からシステム創生を担える海事技術者を育成します。

3 入学時に必要な経費

(1) 入 学 料 84,600円 入学手続き時に納入

(2) 授 業 料 半期分 117,300円 (年額 234,600円)

* 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

* 教科書代、後援会費等は別途必要です。

4 奨学制度

(1) 入学料・授業料免除

① 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡したり風水害等の災害を受けた場合、その他、相当の理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、選考のうえ入学料の全額若しくは半額を免除し、又はその徴収を猶予することがあります。

② 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められた場合、または、各学期の授業料の納期前6ヶ月以内（新入学者に対する入学の日の属する学期の授業料免除については、入学前1年以内）において、学資を主として負担している者が死亡したり風水害等の

災害を受けた場合、その他、相当の理由により授業料の納付が著しく困難であると認められる場合には、選考のうえ授業料の全額若しくは半額を免除し、又はその徴収を猶予することがあります。

(2) 奨学金

日本学生支援機構の規定に基づき、学資の支弁が困難と認められ、かつ、学業成績・人物ともに優れ、健康である者に対し、本人の申請に基づき選考のうえ、日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。

